

What is Tachikoma.io

端的になに？

「Tachikoma.io」

- Ruby/Rails アプリケーションを
- 健全に保つ
- 一番痛みが³少ない
- Bundle Update as a Service

メリット

- Ruby/Rails の利用者が、依存ライブラリのバージョンアップにより簡単に組みめるようになる
- その結果、プロダクトの寿命が伸びる
- さらに、利用者が、本当にやりたかったコアに多くの時間を割けるようになる

Ruby を適用した箇所

- ウェブアプリケーション部分
- Ruby on Rails on Heroku
- バックエンドのビジネスロジック部分
- Ruby and Tachikoma gem on Digital Ocean
- [Tachikoma gem](#) 部分が OSS

Ruby 適用箇所で特に新規性なし 一般的な web アプリケーション

Ruby と Rails が開発チームの一番手に馴染んだサービスである

また、自らドッグフーディングしている, Tachikoma.io 自身が Tachikoma.io ユーザーである

Ruby を活用したことによる効果、社会に及ぼす影響

- Ruby/Rails の活用事例は増えている

- その一方で、バージョンアップに掛けるコストの話、バージョンアップしないことによる古い Ruby/Rails を使っていることの痛み、について聴く頻度も増えている
- e.g.
 - [Rails 4 へのアップグレード時に遭遇した問題 – クックパッド開発者ブログ](#)
 - hsbt, GMO ペパボ [From ‘Legacy’ to ‘Edge’ 2014 edition // Speaker Deck](#)
 - tmm1, GitHub [RubyKaigi 2014 | Ruby 2.1 in Production](#)
- Tachikoma.io の利用などにより、継続的にメンテナブルな Ruby アプリケーションの増加によって、健全に Ruby アプリケーションを活用する人数、プロジェクトが増える
- より見たことないものが出てくる

[Tachikoma.io](#)

sanemat {AT} tachikoma.io